

## 第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「西宮さんは少しのSと優しさでできている」

テーマ:「金持ちなのに、修学旅行に行きたがらない美少女」

キャラクター

70

ストーリー

40

テーマ(設定)

50

文章力

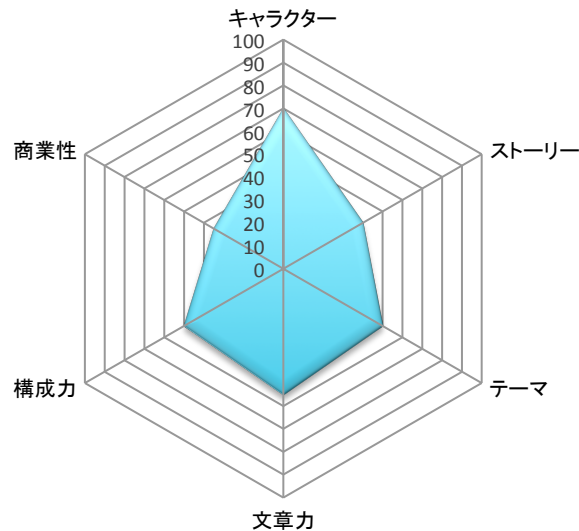
55

構成力

50

商業性

35



### ・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

### ・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

とにかく作品の魅力が「西宮が可愛い」の一点に綺麗に集約されている点が非常に良い。+2。強いていうならば、西宮というキャラクターをこのレベルまで確立することができているのだから、もう少しこのキャラクターを動かせるためのエピソードが欲しかった。また結局西宮が修学旅行に行かなかった理由もややもやとしたまま終わり、「金持ちなのに」というギャップをあまりうまく使われているとは言えず、正直「ものすごくもったいない」というのが第一印象。

・悪い意味でも良い意味でも読み易い。悪い意味について、あまりにも登場人物たちにとっての障害がなく平坦な一本道のストーリーラインであるため、意外性がないという意味では商業的には成功しにくいと思われる。しかし良い意味で、何も考えずにざらっと読めて、しかも非常に明るくテンポもよいストーリーラインは読んでいて非常に楽しく、元気さえもらえる気がする。特にこれといった特徴はなく平坦ではあるが一方で安定した味をもっている作品として、例えるなら全く味付けされてない炊きたての真っ白なご飯のような感じ。何か一つ梅干しのような刺激的特徴があれば作品は更に栄えったと思われる。

合計加点ポイント 2

総得点: 300 / 600

B方式総合得点: 15200 点